



第80号

2025年(令和7年)1月31日

二和地区社会福祉協議会
船橋市二和東5-26-1
電話・FAX 447-3711
二和公民館3階

ます。昨年中は地区社協の活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。豪雨等の災害の多い一年でした。又明るい話題もありました。パリオリンピック、パラリンピックでの日本人選手の大活躍、大リーグでは大谷翔平が大活躍しました。今年こそは災害の無い平穏な一年



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

になりますよう祈っております。さて、昨年の地区社協の活動はミニデ、囲碁将棋、健康マージャン、シルバリーハビリ体操、又11月には福祉まつりを実施しました、コロナ禍前の状況に戻しつつ取り組みました。そこで先ず感じた事はコロナ禍前に比べてさらに高齢化が進んだ事でした。地区社協としては、地区自治連、地区民児協、地域包括支援センター、関係諸団体とこの現況を認識、共有して連携を計りながら、安心して暮らせるまちづくり、そして地域の健康寿命増進を目指して取り組んで参ります。皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

サロンを活用して

健康寿命を伸ばそう

二和地区社会福祉協議会 会長 郷 昭



謹賀新年

二和地区社会福祉協議会



マスコットキャラクターのふくしろうとは

船橋市民と市社会福祉協議会のつなぎ役を果たす

『ふくしろう』は【大きな瞳でいつもたくさんの人を見つめ、皆さんを幸せにしたい】という、制度やサービスだけでは補えない信頼感や安心感を大事にする温かい心を持って活動するマスコットキャラクターです。

福祉との共存を通じて

船橋市二和・八木が谷地域包括支援センター 所長 上野 和美

私が福祉の世界に足を踏み入れた原体験は、中学時代、地元の社会福祉協議会が主催した福祉体験でした。その後高校でボランティア部での経験を生かして、福祉系大学に進みました。就職してからは病院・診療所の相談員やケアマネージャーを経験し、異動で「二和在宅介護支援センター」に所属し、2019年から「二和・八木が谷地域包括支援センター」となり、現在に至っております。家では4人の男児(うち3人は三つ子)の母で、お菓子作りが息抜きです。現在の仕事は何年経っても常に新しい学びと出会いがあり、人生の先輩から教わることばかりです。人生の一端に寄り添うことができる貴重な機会だと感じています。まだまだ若輩者ですが、今後もよろしくお願いいたします。



なごみ・納会・ふれあいコンサート開催



昨年12月27日、サロン事業の納会を開催しました。郷会長の挨拶に始まり、利用者・ボランティアの皆さん・出演協力者・地区社協関係者総勢60数名の方が熱気に包まれ、4部構成の演奏を楽しまれました。次年度も皆様の幅広いサロン事業への参加をお待ちする旨、福田監事の閉会の言葉と皆さんのお手を拝借して締めくくって頂きました。

寄付への御礼

- ・ふたわ福祉まつりで能登半島地震災害支援金¥722の寄付が集まりました。
- ・藤井様(元NPO法人・さくらの園オーナー)より市社会福祉協議会経由でフードバンクチバ主催のフードバンク事業へ精米30kgの寄付を頂きました。ありがとうございました。

編集後記

昨年早々の能登沖地震に始まり夏場の豪雨災害に続いて今年初めの最強寒波の到来・世界の紛争地域の拡大・異常気象や右肩上がりの物価上昇で、益々、住みにくい世の中となってきました。また感染症も猛威を振るい続けております。本年の願いは春先以降、少しでも経済・物価の安値安定・穏やかな世の中になることを願うばかりです。(TS)

包括だより

来所された高齢者の方からのよくある相談を二つ程紹介します。

相談・その1と対応例

『体力が落ちてきた。風呂場に手すりが欲しい。どうしたらいいの?』

介護保険制度を説明し、筋力トレーニング可能なデイサービスの紹介を行いました。介護保険の申請支援を行い、見学できるデイサービス等を紹介しました。介護認定後、ケアマネジャーをお探しする支援をして、つながりました。

相談・その2と対応例

『親兄弟が亡くなり、今は独り身で元気だが、いざという時の為に今からできる対策は?』

持病やかかりつけ医を確認させていただき、緊急通報装置や安心登録カード、任意後見制度支援などの説明をし、御本人様の希望に沿った支援機関につなげました。

上記内容は地域包括支援センターの窓口に来られる一般的な相談例であり、様々なご相談についてはスタッフ一同、ご相談者様のプライバシー保護を最優先に対応させていただいております。

御来所が難しい方には訪問によるご相談も受け付けております。

船橋市二和・八木が谷地域包括支援センター
開所時間 平日9時～17時 土日祝日休み
TEL: 047-448-7115
センター長 上野和美



スタッフの皆さん

生活支援コーディネーター便り

佐藤 徹也



1 助け合いの活動を通じて

二和地区社会福祉協議会・助け合いの会の先月(12月)対応の活動件数は44件でした。

ご依頼者の皆様からは『感謝の言葉が書かれたメモ用紙を頂いたり、庭がすっきりした。電球交換や網戸・障子の張替で部屋が明るくなった』等のふれあいの言葉をよくいただきます。

この感謝の言葉に触れて、ボランティアの方たちも高齢化に対応しながら、もうひと頑張りしようという共助の原動力となっています。

2 物忘れなどの認知機能の低下に陥り易い人の口癖

- 1 疲れた・何でもいい・好きにして(依存的、丸投げする判断の多い人)
- 2 もう年だから・もうダメです・どうせ自分なんて(否定的な発言の多い人)
- 3 昔はよかった・今どきの若い者は(批判的、皮肉的な発言が多い人)

否定的・批判的な発言を減らして、日々積極的な生活を送るように心がけましょう。

ふたわ福祉まつり

2024年11月9日(土)
二和公民館

報告



晴天に恵まれて第20回ふたわ福祉まつりが開催されました
初めてキッチンカーを呼んで大盛況でした!!



頂いた声

- ・キッズコーナーも充実していて、小さな子供連れの家族も楽しめた
- ・御滝中学校のボランティアがてきぱきしていて好感が持てた
- ・実際にベッドや介護用品などを見る機会がないため、丁寧に説明を受けられてよかった



たくさんのご来場
ありがとうございました!



二和公民館

ミニデイサービスのお知らせ

簡単な工作・音楽鑑賞・健康講話など楽しい企画をご用意して、皆様の参加をお待ちしております!

参加対象: 二和地区にお住まいで65歳以上の方

参加方法: 予約制です。事前にお申込みください。



事務所 047-447-3711
(平日10~12時・13~15時)